

# 第100期 年次報告書

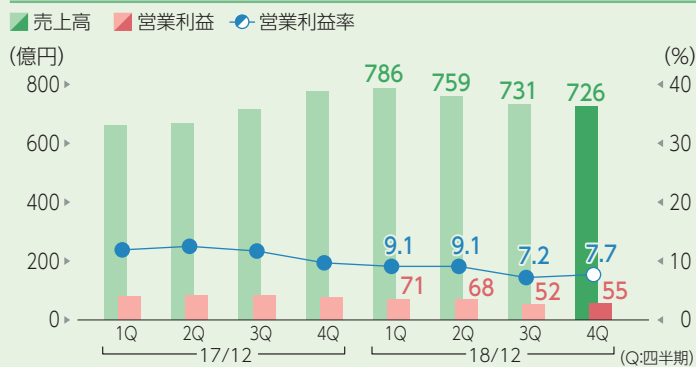
2018年1月1日 ▶ 2018年12月31日



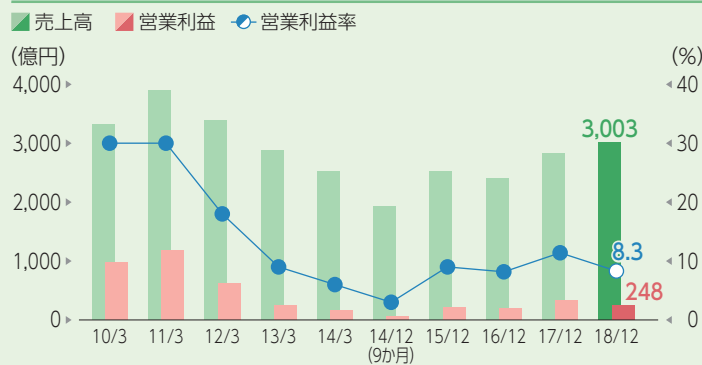
Art by Shinichiro Aikawa

## 連結財務ハイライト

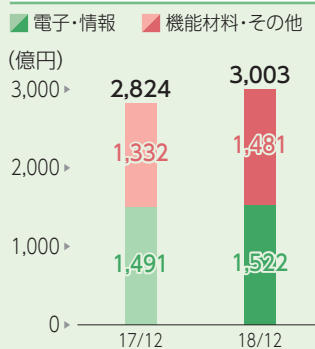
### 四半期 売上高・営業利益・営業利益率



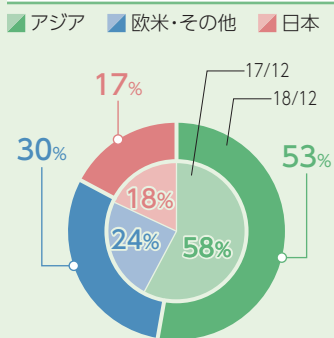
### 売上高・営業利益・営業利益率



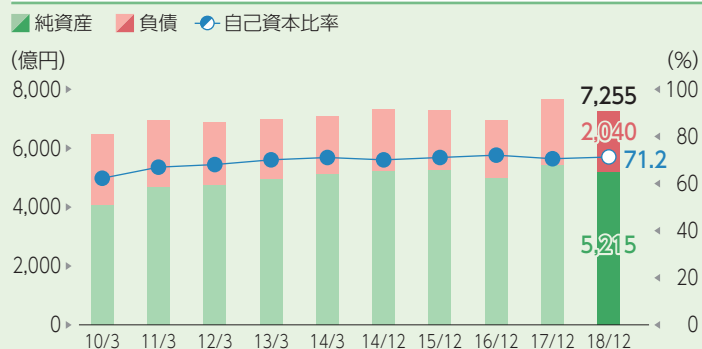
### 部門別売上高



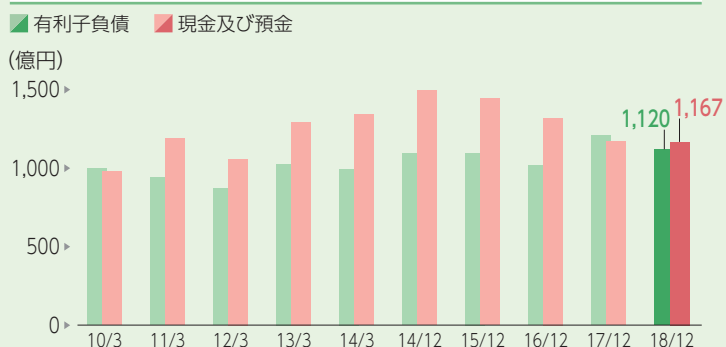
### 地域別売上比率



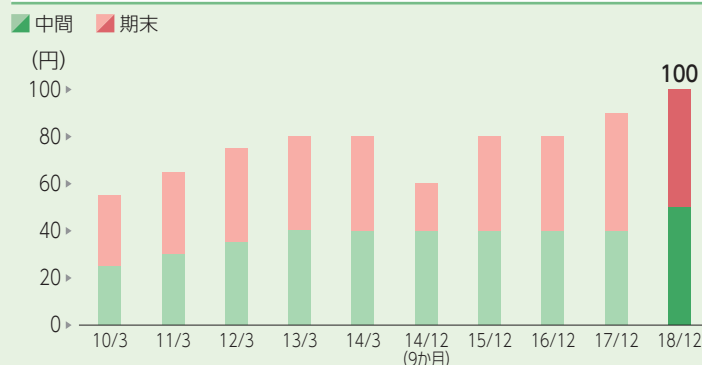
### 負債・純資産・自己資本比率



### 有利子負債・現金及び預金



### 1株当たり配当額の推移



※各期を比較しやすいよう株式併合による影響を遡及して調整の上記載



# STRONG GROWTH

業績・人材・技術基盤・開発力の力強い  
成長を追求し、新中期経営計画「EGP2021」の  
達成に全力をあげてまいります。

社長 松本 元春

**Q** 前中期経営計画「EGP2018」（2016年1月1日～2018年12月31日）を終えましたが、どのように評価していますか。

**A** 業績については、売上高が最終年度（2018年度）に3,003億円となり、目標の3,000億円をクリアできました。一方、営業利益は248億円と目標の300億円を下回りましたが、目標をクリアできる基盤は整えられたものと評価しています。

この間、米国PPG社から欧米のガラス繊維事業を買収したことや、自動車の軽量化を背景とした高機能樹脂用ガラスファイバの需要増加に積極的に対応してきたことでガラス繊維事業が拡大し、これが売上目標の達成に寄与するとともに、長年の課題であった事業ポートフォリオの改善も大きく進展しました。ただ、買収した米国拠点の生産性改善の遅れが利益を下押しする結果となり、損益面では課題を残しました。

薄型パネルディスプレイ（FPD）用ガラス事業では、成長市場である中国でのプレゼンス向上を図るため、中国・福清市の加工合併事業や電気硝子（廈門）における生産能力増強を通じて、新規有力顧客向けを中心に出荷を伸ばしました。また、並行して生産性改善や設備の長寿命化にも取り組み、収益力強化の面で一定の成果が得られました。

一方、研究開発では新製品の開発や事業化が想定を下回る進捗となり、次期に課題を持ち越しました。

**Q** 今回、新たな中期経営計画「EGP2021」（新中計）を公表されました。眼目は何でしょうか。

**A** 眼目は、「STRONG GROWTH」（力強い成長）です。業績の成長と同時に、人材、技術基盤、開発力の成長も図り、企業の体質を強化していくと

いう強いメッセージを込めています。新中計の策定にあたっては、目指すべき企業像である「世界の特殊ガラスメーカー」を念頭に、将来を担う若手社員と経営陣が会社の30年後の未来像を議論し、その結果からバックキャストして中長期的な成長のための5つのキー・ファクターと、それぞれのコンセプトを導き出しました。これらを目指してしっかりと取り組んでいくことにより、会社の成長を確実なものにしていく考えです。

**Q** 「EGP2021」の重点項目と施策は何ですか。

**A** 重点項目には、「研究開発」、「事業戦略」、「戦略的投資」、「CSR」の4つを設定しました。

特に、会社の持続的成長につながる「研究開発」に注力していくため、本年1月から「材料開発」、「製造プロセス開発」、「事業化」の3つを一体的に運営できる新たな組織体制をスタートさせました。これにより、市場のニーズを迅速、的確にモノにして、いち早く市場に投入していきたいと思えます。また、新製品をいかに市場に訴求していくかというマーケティング機能の拡充にも努めていきます。「研究開発」は、金額の面では現状の年間70億円程度から3年後には100億円に引き上げ、人的リソースの面でも強化していく計画です。

次に「事業戦略」ですが、ガラスファイバは、先ずは買収した欧米拠点の収益改善に専念しつつ、これらを含めた世界四極（日本・マレーシア・欧州・米国）のグローバルな事業運営でシナジーを高めていきます。FPD用ガラスは、生産性や品質の革新、省エネルギーなどを実現するため、製造プロセスを大幅に変えていきます。「戦略的投資」では通常の設備投資のほかに約500億円の投資枠を設定し、M&Aなど機動的な投資に備えるほか、「CSR」についても事業活動と連動させながら、企業価値を高めていく考えです。

これらを踏まえ、2021年度に、売上高3,500億円、営業利益350億円、営業利益率10%を目指してまいります。

## Q 2019年度の見通しはいかがでしょうか。

**A** 通期業績の見通しは、売上高3,050億円、営業利益250億円、経常利益220億円、純利益180億円と予想しています。第1四半期は、主力のFPD用ガラス、ガラスファイバとも需要が低下し、大変厳しいスタートとなる見込みですが、年後半にかけての回復に期待しています。

取り組みとしては、「EGP2021」の施策を具体化していくこととなります。FPD用ガラスでは、製造プロセスの抜本的改善による生産性と品質の革新、ガラスファイバでは、欧米拠点の生産性改善がポイント

です。また、光関連や電子デバイス用ガラスは、新製品の早期事業化と拡販に注力し、その他の製品群については、生販一体となり国内外の需要を取り込んでいきます。設備投資については、2019年度は約400億円を予定しています。

## Q 新中計の重点項目に、CSR(企業の社会的責任)が新たに加わりました。

**A** 当社は、2017年度に当社としての「CSRの考え方」を再確認し、「環境」、「多様性」、「地域」の3つを重点課題に設定しましたが、新中計では、より広範にこれらの課題を具体的取り組みに落とし込んでいきます。「環境」では、環境配慮型製品の開発・拡販のほか、前述の製造プロセスの抜本的改善が省エネ・省資源・CO<sub>2</sub>削減につながるものと期待して

## 「EGP2021」概要

期間 2019年1月1日～2021年12月31日 (3か年)

# ■ 新中期経営計画「EGP2021」

当社は、目指すべき企業像である「世界一の特殊ガラスメーカー」実現に向けての一里塚として、2016年度より中期経営計画「EGP2018」に取り組み、ガラスファイバのオーガニック成長とM&Aによる拡大、ディスプレイ用基板ガラスの生産性改革と海外生産拡充による収益力強化等の施策を進めてまいりました。

新中期経営計画「EGP2021」については、中長期的な成長のための5つのキー・ファクターを定め、そのコンセプトの実現に向けて取り組んでまいります。

## ■ 5つのキー・ファクターとコンセプト、及び「EGP2021」の関連図

目指すべき企業像

世界一の特殊ガラスメーカー

**EGP2018**

2018年度実績

売上高 …… 3,003億円  
営業利益 …… 248億円  
営業利益率 …… 8.3%

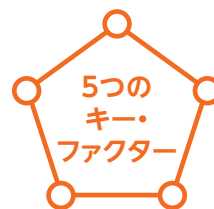
**EGP2021**

2021年度目標

売上高 …… 3,500億円  
営業利益 …… 350億円  
営業利益率 …… 10.0%

企業のあり方  
社会と共存し、社会に  
貢献する存在

研究開発  
夢を実現する  
ガラスの創造



製造プロセス  
革新的な  
プロセスの開発

環境保全  
持続可能な  
モノづくりの実現

人材育成  
高い志と  
熱い心を持つプロ集団

います。「多様性」では、障害者雇用の推進(目標:法定雇用率の2倍(4.4%)、当社:昨年末3.7%)に取り組むほか、育児や介護等を支援するための在宅勤務や従業員の復職制度の活用推進、再雇用制度の見直し等を進めていきます。「地域」では、滋賀県立大学との産学連携、滋賀県が主催する「びわ湖フローティングスクール事業」への支援等、地元の子供達や学生の育成支援を中心に地域貢献を行っていきます。

## Q 最後に株主の皆様へのメッセージをお願いします。

**A** 当社は、株主の皆様への利益還元を重要な経営課題と位置付けています。配当については、長期的な安定配当の継続と株主資本配当率

(DOE) 2%以上を基本に置いています。また、中期経営計画達成状況に応じた弾力的な還元策も実施していく所存です。

2018年度は、1株につき中間・期末ともに50円、あわせて年間100円(前期比10円の増配)の配当を行わせていただきました。また、株主還元の充実を目的として、当社として初めて約100億円の自己株式取得を実施いたしました。2019年度の配当は、中間50円、期末60円、年間では110円とし、3期連続の増配を予定しています。

今後とも「世界一の特殊ガラスメーカー」の実現に向けて更なる成長を目指してまいります。引き続きご支援のほど、宜しく申し上げます。

**基本方針** 「世界一の特殊ガラスメーカー」の実現に向け、更なる成長を目指す。

**スローガン** “STRONG GROWTH ~ 高い志を掲げ、壁を打ち破ろう”

※業績の力強い成長と同時に、人材の成長、技術基盤の成長、開発力の成長も図り、企業体質をより強く“STRONG”にすることに主眼を置く。

## 重点項目と施策

### 1 研究開発

- 製品、技術、製造プロセスの一体的な開発体制構築
- マーケティング機能の拡充
- 年間100億円の研究開発を実行(売上高比3%、対2018年度比43%増)
- 「夢を形にする」研究開発の追求

### 2 事業戦略

- ディスプレイ用ガラス事業の生産性と品質の革新
- ガラス繊維事業の拡大とM&Aシナジーの結実
- 中国をはじめとした成長エリアにおけるプレゼンスの強化
- 事業価値の評価とリソースの適切な配分

### 3 戦略的投資

- 将来成長を見据えたM&Aや他社との協業・提携等に備え、通常の設備投資のほかに、当該3か年で約500億円の戦略的投資枠を設定

### 4 CSR

- CSRの重点課題「環境・多様性・地域」の取り組みを通じた持続的成長と企業価値向上

## 経営目標

- 売上高…………… **3,500億円**  
 <内訳> 電子・情報 — 1,750億円  
 (ディスプレイ用ガラス、光関連・電子デバイスほか)  
 機能材料・その他 — 1,750億円  
 (ガラスファイバ、医療、耐熱、建築ほか)
- 営業利益…………… **350億円**
- 営業利益率…………… **10%**
- 目標達成年度…………… **2021年度**

## 財務方針

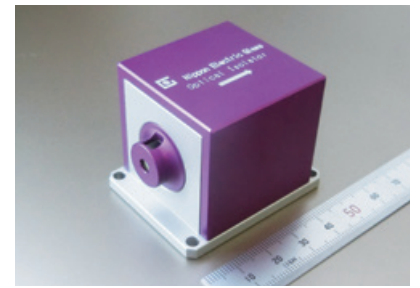
- キャッシュ・フロー重視
- 資産効率重視  
 (金融資産・棚卸資産の圧縮、設備の生産性向上と集約)
- 財務の健全性

## 利益還元方針

- 長期的な安定配当の継続
- 株主資本配当率(DOE)2%以上
- 中期経営計画達成状況に応じた弾力的な還元策の実施

## 磁気光学ガラスを用いた世界最小の高出力 ファイバレーザ用光アイソレータの開発に成功

近年、さまざまな材料のマーキングや微細加工にファイバレーザの使用が広がってきていますが、これには反射による戻り光を遮断する目的で光アイソレータというデバイスが用いられます。当社が新たに開発した光アイソレータは、従来材料の約2倍の磁気光学性能を持つ新開発の磁気光学ガラスを使用し、高性能化とともに大幅な小型化を実現しました。ガラスは、安定した品質で量産にも適しており、今後、光アイソレータの品質と供給の両面で大きなメリットが期待できます。



光アイソレータ (L51×W40×H40mm)

### 1 CAMX 2018 (The Composites and Advanced Materials Expo)

10月16日～18日

アメリカ・ダラス

複合材料と最先端技術に関する北米最大規模の展示会「CAMX 2018」に出展しました。アメリカ内で生産中のガラスファイバ製品に加え、日本で生産・開発しているセメント強化用の耐アルカリガラスファイバやフラットガラスファイバなども紹介しました。顧客との面談をはじめ、技術者による技術発表やセッション開催などを通し、顧客や業界団体との情報共有を深め、当社グループの技術力をアピールしました。



### 2 第3回高性能建材・住設EXPO 2018

12月12日～14日

東京ビッグサイト

省エネ・防災・リノベーションなど高性能な建材・住宅設備に特化した展示会「第3回高性能建材・住設EXPO 2018」に初めて出展し、防火設備用ガラスの<ファイアライト>や<ファイアライトプラス>の他、防犯用途の<Lamion>のショーケース、調理器トッププレート<ステラシャイン>を紹介しました。



## Electric Glass Fiber UKが「The Glass Focus 2018」にて Company of the Yearを受賞

当社ガラス繊維事業の英国子会社であるElectric Glass Fiber UKは、British Glass\*主催の「The Glass Focus 2018」において最高賞のCompany of the Yearを受賞しました。

人材育成活動を通じたビジネスの強化と、当社(日本)の安全衛生活動を参考に構築した安全衛生活動(“Near miss-Hiyari Hatto”)が高く評価されました。

※British Glass：英国内の主要なガラスメーカーが加盟している英国ガラス業界最大の業界団体



「The Glass Focus 2018」の授賞式

### 1 特例子会社、電気硝子ユニバーサポート が『ユースエール』認定を取得



11月8日、障害者雇用促進の特例子会社である電気硝子ユニバーサポートがユースエール企業に認定され、滋賀労働局長から認定書が交付されました。この制度は「若者雇用促進法」に基づき、若者の採用・育成に積極的に雇用管理の状況などが優良な企業を認定するものですが、障害者雇用促進の特例子会社が認定された例としては、全国で2番目となります。



### 2 大津 琵琶湖での 外来魚駆除釣り大会

外来魚を駆除して琵琶湖の生態系を守ることと、従業員とその家族との懇親を図る目的で10月27日に「外来魚駆除釣り大会」を開催しました。2017年に続き2回目の開催でしたが、今年も多くの方が参加し、2時間で220匹の釣果がありました。楽しみながら琵琶湖の環境を考える良い機会になりました。



# 会社概要

## 会社概要 (2018年12月31日現在)

創 立 1949年12月1日  
商 号 日本電気硝子株式会社  
本 社 滋賀県大津市晴嵐二丁目7番1号  
TEL 077(537)1700(代表)  
FAX 077(534)4967  
資 本 金 32,155百万円  
従 業 員 数 6,875名 (連結)  
営 業 所 大阪・東京  
事 業 場 大津・滋賀高月・能登川・  
精密ガラス加工センター  
主要事業内容 特殊ガラス製品の製造・販売  
連結子会社 国内12社・海外15社  
ホームページ <https://www.neg.co.jp/>

## 取締役および監査役／執行役員 (2019年3月28日現在)

取締役会長 (代表取締役)	有 岡 雅 行	社長執行役員	松 本 元 春
社 長 (代表取締役)	松 本 元 春	専務執行役員	竹 内 宏 和
取 締 役	竹 内 宏 和 佐 伯 彰 久 津 田 幸 博 山 崎 一 樹 小 野 純 丸 森 出 令 子 裏 出 令 子	常務執行役員	佐 伯 彰 久 田 崎 幸 博 岸 本 村 憲 中 松 宮 晴 金 井 敏 正 竹 内 秀 広 中 野 村 博 也 久 保 正 典 加 角 登 昭 森 井 智 司 高 畑 正 男 堀 内 林 正 宏
常勤監査役	應 治 雅 彦 林 嘉 久	執行役員	金 井 敏 正 竹 内 秀 広 中 野 村 博 也 久 保 正 典 加 角 登 昭 森 井 智 司 高 畑 正 男 堀 内 林 正 宏
監 査 役	松 井 克 浩 高 橋 司		

※1 社外取締役  
※2 社外監査役

## 株式の状況

(2018年12月31日現在)

### 株式に関する事項

発行可能株式総数 240,000,000株  
発行済株式の総数 99,523,246株  
単元株式数 100株  
株主数 13,460名

### 所有者別株式分布状況



### 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
ニプロ株式会社	12,715	13.2
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	10,951	11.3
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	6,443	6.7
資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口)	1,814	1.9
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140051	1,726	1.8
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	1,697	1.8
株式会社滋賀銀行	1,617	1.7
日本証券金融株式会社	1,477	1.5
STATE STREET BANK WEST CLIENT - TREATY 505234	1,390	1.4
JP MORGAN CHASE BANK 385151	1,212	1.3

※1 当社は、自己株式を2,918,451株保有していますが、上記大株主からは除外しています。  
※2 持株比率は、自己株式を控除して計算しています。

## 株主メモ

事業年度 毎年1月1日から12月31日まで  
定時株主総会 毎年3月  
基準日 定時株主総会・期末配当  
毎年12月31日  
中間配当  
毎年6月30日  
上場証券取引所 東京(市場第一部)  
株主名簿管理人および  
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社  
株主名簿管理人 大阪府中央区北浜四丁目5番33号  
事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社証券代行部  
(郵便物送付先) 東京都杉並区和泉二丁目8番4号(〒168-0063)  
(電話照会先) ☎0120-782-031  
(インターネットURL) <https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>  
公告の方法 電子公告 (<https://www.neg.co.jp/>)  
ただし、やむを得ない事由により電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

### 株式に関するお問い合わせ先

内容	お問い合わせ先
支払期間経過後の配当金について	三井住友信託銀行(株) ☎0120-782-031
特別口座に関する事項(※1) (特別口座から一般口座への振替請求等)	
氏名・住所等の変更	口座を開設されている証券会社等
配当金の受領方法(振込先等)の指定	* 口座を開設されていない方は 上記三井住友信託銀行(株)
単元未満株式の買取・買増請求(※2)	

※1 特別口座のまま売買等を行うことはできず、一般口座への振替が必要である。  
※2 当社での買取りまたは1単元(100株)に不足する数の株式を当社から買増することができます。  
なお、当社での手続きに係る費用は無料です。



見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。